



令和5年度 福井市豊小学校スクールプラン

学校教育目標

《福井市学校教育目標・方針》

- ◇郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
- ◇学びをつなぐ 未来をつなげる

豊かな心を持ち 自己実現を図ろうと たくましく生きる子の育成

《保護者・地域・教師の願い》

- ◇生活習慣や学習規律が確立した子
- ◇夢や希望を持ち、実現に向けて行動できる子
- ◇主体的に学び、自ら課題を解決できる子

めざす児童像

- 考える子（自ら進んで学び合う子）
- 助け合う子（思いやりのある子）
- たくましい子（心身ともに健康な子）

【本校研究テーマ】

自ら課題を見つけ、対話を通して解決できる子
～人・もの・ことをつながりを通して～

【明倫中学校区教育テーマ】

「郷土を愛する心を持ち、未来に向かって挑戦し続ける児童・生徒の育成

【やさしく：豊かな人間性】

◎生命や人権を尊重し、認め・助け・協力し合う仲間づくり

- ・毎日安心して登校できるよう、教育活動全体を通して生命尊重や相手を思いやる態度を養うと共に、いじめ事前防止への取組を行う。
- ・特別支援教育の充実に努め、全教員で共通理解を図りながら校内での組織的な支援体制を確立する。

◎自己実現への非認知能力の向上

- ・低学年「一人で歩く」、中学年「みんなと歩く」、高学年「力の限り歩く」を意識して学校行事や学習で継続して取り組む目標を決め実行する。振り返りを重視し自らの学びと成長を省察する。

- ・友だちとの関係が良く、学校へ通うのが楽しい。 児童アンケート95%
- ・個人目標「続ける努力輝く未来」を実行できた。 児童実態90%以上
- ・充実した学校生活を送り自信をつけさせている。 地域評価90%

【かしこく：自ら学ぶ確かな学力】

◎生活経験に根ざした課題について対話を通して解決する児童主体の授業とICT機器活用による学ぶ意欲向上

- ・学ぶ意欲を高める課題設定と児童同士が相互に関わり合う授業展開を工夫することで主体的に学ぶ力を高める。
- ・ICT機器の活用方法を工夫することで自らの学びと成長を実感できる「楽しい・わかる・できる」授業改善を推進し学力向上を図る。

◎読書の推進による読書習慣定着

- ◎表現する場の充実
 - ・全校の場での児童発表と活躍の場

- ・授業で学ぶのは楽しい。 児童アンケート95%
- ・思考を深める授業づくり 職員アンケート100%
- ・年間30冊以上の本を読んだ。 読書調査100%

【たくましく：健やかな心と体】

◎健康でたくましい心と体の育成

- ・学校周辺の地形を生かした業間運動や園小連携で行うマラソン大会、なわとび、持久跳び等を通して、体力向上を図る。

◎将来の夢やその実現への目標など、生き方を学ぶ教育活動の推進

- ・発達段階に応じたキャリア教育を推進し、学校行事や体験活動の他教育講演会や「ようこそ先輩」等職業観形成の機会を設定し、将来への夢や希望を持つ児童を育てる
- ・気がかりな児童の情報を共有し早期に組織的に対応することで、長期欠席を未然に防止する。

- ・短・長距離走の記録が向上した。 向上率100%
- ・終礼時の児童情報交換 実施率100%
- ・将来の夢やめざす目標がある。 児童アンケート80%以上

【ともに生きる：地域に学ぶ】

◎地域素材の活用と地域の方々との交流活動の推進

- ・地域の人・自然・歴史・行事との関わりから、多面的、多角的な学びを生かし、ふるさとを愛する心を育てる。その中で地域に開かれ地域と共に歩む学校をめざす。

◎自らを守る安全教育の推進

- ・家庭との連携や地域との情報交換を密に行い、安心・安全な学校づくりに継続的に取り組む。
- ・小中連携「スマートルール」を活用し、我が家のルールを親子で共に考え、守る。

- ・地域のことを学ぶことは楽しく、郷土を大切にしたい。 児童アンケート95%以上
- ・児童は地域での活動をがんばっている。 地域評価90%以上
- ・スマートルールを学校と家庭で連携し守った 保護者アンケート80%以上

【業務改善のための取組】 ・ITC活用による業務改善…会議のペーパーレス時間短縮と事務の効率化促進

- ・学校行事への組織的運営と協働体制構築による負担軽減
- ・定時退勤日と業務推進日の積極的活用
- ・年休の年間取得日数(11日以上)と長期休業中の年休連続取得
- ・PTA、地域行事参加時の代休(遅出・早退)確保